

人材ビジネスと 金融リテラシー

本調査編

——派遣スタッフの過半数が、実は心に秘めていた「登録したい派遣会社」の新たな選択肢とは？

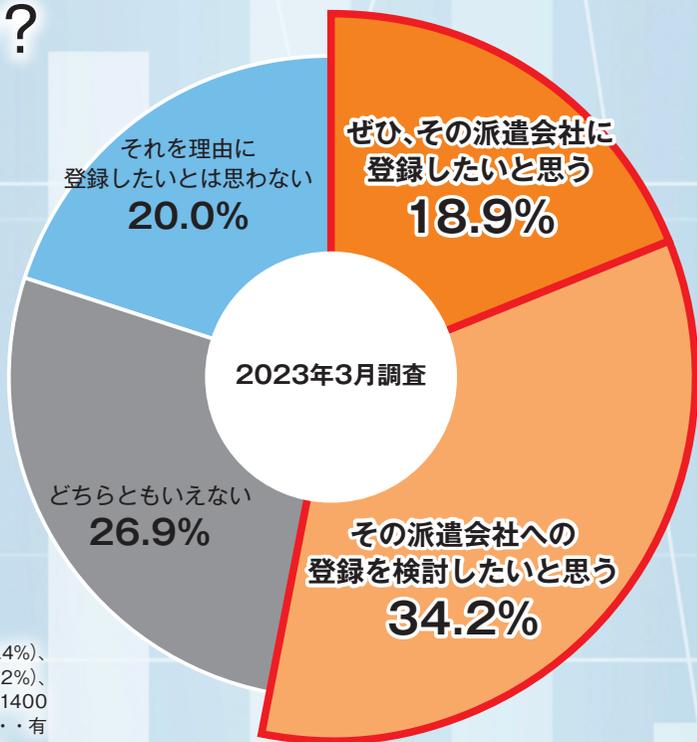
マネープランニングに理解のある派遣会社かどうか？

金融リテラシー向上も含めた派遣スタッフのライフプランニングに理解があり、福利厚生などでサポートしてくれる派遣会社があれば、登録したいと思うか。
(回答は1つ) n=4000

回答率(%)は、小数点以下第2位は四捨五入により、小数点第1位までを表示しています。そのため、合計数値は100%にはならない場合があります。

■調査概要■

●実施期間・・・2023年3月23日～27日
●有効回答数・・・4000人 ●男女比・・・男性1414人(35.4%)、女性2586人(64.7%) ●年齢比・・・10代:9人(0.2%)、20代:342人(8.6%)、30代:916人(22.9%)、40代:1400人(35.0%)、50代:1333人(33.3%) ●雇用形態・・・有期雇用:2768人(69.2%)、無期雇用:1232人(30.8%)



「安定して就業できるわけではないので、いかに将来の貯蓄を増やしていくかが凄く大事であると思う。派遣会社などで金融にまつわるセミナーなど開催してほしい」(42歳女性・栃木・中小派遣)



「安定雇用されない人間にはせめて金融教育すべきでは」(43歳女性・岩手・中小派遣)



本誌2023年2月号で特集を組んだ「人材ビジネスと金融リテラシー」。今回、その第2弾を「本調査編」としてお届けする。2月号は「予備調査」であり、本調査の今回は、前回の調査データとの比較・検討に加えて、新たなデータ・コメント等を誌面の許す限りに盛り込んだ。あえて、今回のメインテーマを挙げるなら、タイトルにも掲げた「マネープランニングに理解のある派遣会社かどうか——派遣スタッフの過半数が、実は心に秘めていた「登録したい派遣会社」の新たな選択肢——という論点である。まずは冒頭の円グラフのデータからご覧いただければと思う。(本誌 伊藤秀範)